



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性化しよう

プログラム

●本日

「理事・委員長退任あいさつ」
各理事・委員長

●次週予定

「理事・役員退任あいさつ」
各理事・役員

会員誕生日

6月5日 深瀬 晏男
6月9日 平井 誠治

特別慶祝(喜寿)

6月9日 平井 誠治

結婚記念日

6月7日 齋藤 清藏
6月8日 二ノ宮清信
6月8日 松川 一夫

No. 2329

第44回 6月4日



前
例
会

会員総数……………47名
出免会員……………3名
欠席会員……………15名
出席率……………65.91%

前
々
会

第41回 5月11日
欠席会員……………0名
メイクアップ……………0名
修正出席率……………100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告 ……………

○ 3年後に迎える創立50周年について、理事会では50周年事業検討委員会を設置します。委員は田中公一会員、佐藤潔会員、高田潔会員、清水陸会員、中川勝美会員の会長経験者をお願いします。留萌クラブの現状を勘案し適正な周年事業のあり方を検討いただきたいと思います。意見集約は直前会長の中川会員をお願いします。

👤 幹事報告 ……………

会報受領先

・赤平RCより2308号～No2311号

👤 委員会報告 ……………

次年度理事会

齋藤会長エレクト

5月21日に第3回被選理事会及び第2回クラブ協議会を開催しました。理事会においては年間スケジュールの承認を頂きました。厳しい予算の中、親睦活動委員会による夜間例会を8回と、親睦活動、会員研修委員会合同の研修夜間例会を2回開催します。移動例会はあんどんと花見例会の2回。振替例会はあんどん、地区大会、IMの3回。休会は法定休日の2月11日、4月29日、5月6日の3回。定款第5条第1節(C)項により8月13日、10月1日、12月31日、4月8日の4回で、例会総数45回となります。

次に会費は年間1人あたり19万8千5百円として承認されました。

ガバナー公式訪問についてですが、8月20日

に3クラブ合同例会として開催します。留萌クラブがホストクラブですので、例会運営、会場監督、親睦活動委員会の皆様よろしくお祈りします。当日のスケジュールは年度に入りましてからお伝えいたします。なお概略では10時よりガバナー、ガバナー補佐を交えて3クラブの会長幹事会。11時より3クラブ合同のクラブ協議会で、12時30分より3クラブ合同例会の予定です。例会の食事のみで、余興はございません。付け加えますと、次年度の3クラブ合同例会はこれにて終了とし、日をあらためては行いません。

次年度の大西ガバナー補佐より留萌クラブの被選理事会に出席したいとの連絡があり、6月18日例会終了後1時30分より産館にて被選クラブ協議会を開催予定です。

また例会にて国家斉唱を毎例会行なう事に決定しました。

被選クラブ協議会では各委員会からの活動方針について報告がありました。

愛好会

ゆどうふ会 対馬愛好会幹事

明日5月29日(木)午後6時30分よりいちばんかんにて、春の叙勲で瑞宝双光章を受賞した越野俊興会員の受賞のお祝いを開催します。すでに皆様にはFAXにてお知らせいたしました。万障お繰り合わせの上多数の出席をお願いします。会費は3500円です。出欠確認は例会終了までに行います。

3分間情報

会員研修委員会 河部副委員長
「2007年クラブ定款上の四大奉仕の解説」

—その2—

1927年のオステンド国際大会で、ロータリーの奉仕活動を四大奉仕に分類する The Aims and Objects Plan が採択されて、クラブ理事会の下に Aims and Objects 委員会が置かれ、その下にクラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、

社会奉仕委員会、国際奉仕委員会を設置してそれぞれの委員長が理事を務めるという現在の四大奉仕委員会制度が生まれました。

「ロータリーの綱領」は四大奉仕を説明したものだという人がいますが、それが間違いであることは、当時のロータリーの綱領は6項目からなるものであり、現在のように4項目の綱領ができたのは1935年になってからとのことからも明らかです。そう考えると、ロータリーの奉仕理念を規定した四大奉仕が、なぜ今まで定款や細則に収められなかったのかが逆に不思議な感ずらします。

四大奉仕は奉仕活動の実践に基づいた分類だと一般に考えられてきましたが、四大奉仕は哲学(奉仕理念)と实际的(奉仕活動の実践)の両面からの基準であることが冒頭に説明されています。

第一項ではクラブ奉仕の目的を、クラブの機能を充実させるためにクラブ内で会員が取べき行動であると規定しています。

第二項では「綱領」の中で述べられている職業奉仕の目的を再掲すると同時に、ロータリーの奉仕理念に基づいて事業を営むことが「会員の役割」として明記されています。1987年に40年ぶりに設置されたR I職業奉仕委員会が発表した「職業奉仕に関する声明」で問題になっていた「クラブの役割」という文言を、定款上で敢えて削除したことに大きな意味があります。職業を持っている個々のロータリアンが職業奉仕の実践を行えたとしても、職業を持たないロータリー・クラブがどのようにして職業奉仕の実践を行うかについて疑念が持たれてきたからです。

第三項では現行の「綱領」には直接記載されていない社会奉仕の定義が明記されています。ただし、対象を敢えてクラブの所在地域または行政区域内に限定したことにはいささか疑義を感じます。これは国際奉仕の守備範囲とあえて

区分するためと思われますが、将来のCommunityの範囲は地球全体と考えるべきでしょう。

第四項は現行の「綱領」とはかなり異なった定義となっています。「他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動」はWCSを念頭に置いた表現だと考えられ、従来から「綱領」にそぐわない活動だと陰口を囁かれてきたWCSを、国際奉仕の活動の一部として正式に認めたものと考えられます。さらに国際理解、親善、平和を推進するためのすべての活動をこれに加えることによって国際奉仕の活動の場を広げた解釈となっています。

(「ロータリーの源流」から)



ニコニコBOX.....

- ・WCSタイ検証ツアーから無事帰国しました
本日プログラムを担当させていただきます
田中会員
- ・田中先生お帰りなさい ご無事でなによりでした 今日先生の卓話を楽しみに出席しました
森(幹)国際奉仕委員長
- ・麻雀大会優勝
越野会員
- ・麻雀大会準優勝
武井会員
- ・麻雀大会1位 田中先生よりクスリいただきました
渡邊会員

前 回	1,027,500円
今 回	37,000円
累 計	1,064,500円



プログラム.....

「留萌クラブのWCSプログラム検証ツアー」

国際ロータリー第2510地区

国際奉仕委員 田中 公一 会員

今年度、留萌ロータリークラブと、タイ・ノンカイロータリークラブの共同事業を検証してきました。タイ北部の農村地帯にある Bann Na Klong School の井戸水浄化装置が完成し、5月19日(月)に式典が行われました。

会長に代わり挨拶とテープカットをし、安全な水の試飲もしました。地区の国際奉仕委員会が、WCS委員会と合同で開催された時に、出村委員長さんから検証ツアーのお話があり、雨水を飲料水としている子供達のために、クリーンウォーター・プロジェクトに、留萌クラブも応募したことを知らされました。

3月のツアー説明会では、前年度が8名で2月の実施でしたが、今回は31名の参加者と増えました。

このプロジェクトが各クラブに知られるようになったのは、委員長が各クラブの例会で「目がキラキラ輝いている子供達のために安全で安心できる飲み水の提供を」と訴えたお陰です。今回はバイオガス施設の見学や、チェンマイの日本領事も参加したチェック・ダムと大変忙しいツアーでした。新千歳空港を出発してチェンマイに到着したのが、13時間半後で、チェンマイロータリークラブの歓迎レセプションが終わったのが、日本時間で翌日の午前1時40分、結局初日は20時間以上も起きていたこととなります。

昨日、例会プログラムで、留萌クラブの皆様には報告しましたが、現地の8校の学校を回って会った子供たちや先生、お坊さんと地元の方々の笑顔は一生忘れられません。

限られた紙面に出来るだけ多くの写真を掲載して頂くため、旅行の詳細は省略いたします。

最後に、このツアーのためにWCS委員会の皆様が、いかに多くの努力をされたかは、ツアーに参加してみて良く分かり、ロータリアンで本当に良かったと思えた6日間でした。留萌クラブの会員と地区WCS委員会の皆様に、心から感謝いたします。

留萌クラブのWC Sプログラム

● 検証ツアー ●

